

# ナイルの流れに

カイロ日本人学校 Noboru Ozawa



H. 2 8 . 4 . 2 5

No. 4 1

## エジプトの領土問題

見附中学校のみなさん、こんにちは。私は、見附中学校からエジプトのカイロ日本人学校に派遣されている小澤です。昨年度に引き続き、エジプトのことや私が体験したり見聞きしたりしたことをみなさんにお伝えします。そして、**世界のことや日本のことに関心をもって、いろんなことを考えてほしい**と思っています。

さて、今年度最初の話題は、エジプトの領土問題です。みなさんもお存じの通り、日本にも領土問題があります。**北方領土（ロシアとの係争）、竹島（韓国との係争）**の2つです。**尖閣諸島（沖縄県）**は争っていないのかと思った人もいると思います。**尖閣諸島は、日本固有の領土であり、現在も日本が支配しています。だから、領土問題としては存在しません。**ただ、中国が領有権を主張しているだけです。つまり、日本の領土問題は、2か所だというのが私の認識です。

4月に、**エジプトのシシ大統領**が、「**紅海のチラン島とサナフィル島（右の地図を参照）をサウジアラビアに戻す**」と発表しました。この二島は、紅海北部のシナイ半島東部のアカバ湾の入り口に位置していて、現在エジプトが実効支配しています。シシ大統領は、

**この二島は元々サウジアラビアの領土だから戻すのだとの主張です。一方、サウジアラビアのサルマン国王は、「エジプトに提供した資金援助の見返りとして、エジプトから二島を受けた」と発表しました。**このように、シシ大統領とサルマン国王のスピーチが矛盾しています。エジプトの若者はこの事態に憤りを感じ、シシ大統領に二島返還反対の意を表すため、**タハリール広場でデモ集会**を呼び掛けました。タハリール広場は、2011年のエジプト革命を起こした場所でもあります。この動きを察知した警察や軍は、タハリール広場への入場を制限し、デモや集会は周辺部で行われ、**25人が「暴動扇動」の罪で逮捕**されました。4月25日（シナイ半島開放記念日で祝日）にも、同様のデモや集会が各地で行われました。**最近では爆破事件もなく平穏な毎日を過ごしていますが、若者を中心とした現政権への不満と、政府がそれを何とか警察や軍の力で抑えている危ういエジプトの現状を見る思いがしました。**

このようなデモや集会の情報は、日本大使館からメールで注意喚起情報として送られてきます。外出は自由にできますが、タハリール広場や人が大勢集まっているところには出掛けないようにしています。タハリール広場は、私の自宅からナイル川を渡ってすぐのところにあります。

